

プレスリリース | PRESS RELEASES

2023.1.1 -2023.12.31

January 1, 2023 - December 31, 2023

和文

発表日	主導機関	所内発表者	タイトル
1.18	東京大学	高木 俊幸 助教 / 井上 広滋 教授	サンゴの白化感受性には細菌も関係する？ —共生藻の細胞表面から光保護機能を持つ色素細菌を発見—
2.13	北海道大学	小川 浩史 教授	深海温泉を源とする微生物に分解されない有機物 ～深海熱水から溶存黒色炭素が供給されていることを発見～
2.22	国立極地研究所	阿部 彩子 教授 / 吉森 正和 准教授	南極内陸の積雪は過去 5000 年間で長期的に減少し、産業革命期から顕著に増加 ～南極ドームふじ地域の氷床コアから解明～
3.1	東京大学 大学院新領域創成 科学研究科	岩崎 渉 兼務教授	魚類の生態・進化・環境 DNA 研究を加速するデータプラットフォーム ——「MitoFish Suite」の機能強化——
3.2	東京大学	吉澤 晋 兼務准教授	地球全体に分布するロドプシン保有細菌の新たな光エネルギー獲得戦略 ——キサントフィルを用いた集光アンテナの発見——
3.10	東京大学	高木 俊幸 助教 / スハイラ・ルスニ 特任研究員 / 井上 広滋 教授	魚は淡水中より海水中でより多くのマイクロプラスチックを飲む
3.28	理化学研究所	兵藤 晋 教授	卵で増えない胎生のサメも卵黄遺伝子を持つ —「ラブカ」など 12 種のサメ・エイ類の比較解析で発見—
4.11	北海道大学	太田 瑞希 特任研究員	水深約 7,200m の超深海域から新種の寄生性甲殻類を発見
4.12	東京大学	伊藤 進一 教授 / 矢部 いつか 特任研究員	マサバの成長と個体数変動のモデル化を実現
4.13	島根大学	高木 互 助教 / 兵藤 晋 教授	ヌタウナギの後葉ホルモン受容体を解明！ ～環境適応能力の進化の謎に迫る～
5.15	東京大学	渡辺 泰士 特任研究員 / 阿部 彩子 教授 / 大石 龍太 特任研究員 / Wing-Le Chan 特任研究員	天文学的要因が左右する更新世前期の地球の気候と氷床量変動
5.24	東京大学	塩崎 拓平 准教授 / 吉澤 晋 兼務准教授 / 高見 英人 特任研究員 / 濱崎 恒二 教授 / 原田 尚美 教授	北極海に生息する窒素固定生物のゲノム解読に成功 —北極固有種が存在とその特徴が明らかに—
6.1	東京大学	余 澤庵 特任研究員 / 伊藤 進一 教授 / 兵藤 晋 教授	黒潮の環境 DNA から青魚の分布特性を探る
6.2	東京大学	川口 悠介 助教 / 矢部 いつか 特任研究員	台風が引き起こす波はいつ深層に到達するのか？ ——数週間も海中をさまよう波の亡霊——
6.5	東京大学	高木 互 助教 / 兵藤 晋 教授	「人魚の財布」の作り方：その最初の 1 ページ —トラザメの産卵周期におけるホルモン制御の一端を解明—
6.26	東京大学	新里 宙也 准教授 / 井上 広滋 教授	鹿児島湾の奇妙な生き物 サツマハオリムシの全ゲノムを解読 —化学合成生態系への適応メカニズムに迫る—
6.30	東京大学	横山 祐典 教授 / 宮入 陽介 特任助教	山中湖の湖底堆積物から明らかとなった富士山噴火史 —5050 ～ 3900 年前の未知の噴火を新たに 6 つ発見—
7.10	東京大学	朴 進午 准教授	南海トラフ沿いのスロー地震活動を規定する深海堆積物 —海溝で沈み込む砂層は強い断層を作るのか—
9.14	東京大学	岡 英太郎 准教授 / 西川 はつみ 特任研究員	海洋内部の巨大な水塊が台風に影響
9.20	海洋研究開発機構	沖野 郷子 教授	プレート境界断層スロー地震発生域から海底面までつながる流体経路を発見 —沈み込む海嶺が作る上盤プレート破碎帯のイメージングに成功—
9.21	東京大学	山口 飛鳥 准教授	南海トラフプレート境界断層の現場再現実験から断層のすべり特性を解明 ——スロー地震と巨大地震の発生メカニズムの解明に貢献——
10.2	総合地球環境学 研究所	今須 良一 教授	インド・バンジャール地方の稲わら焼きが起因、高レベルの PM2.5 が德里ー首都圏へ ～高密度観測ネットワークで輸送過程を解明～
10.11	東京大学	上坂 怜生 特任研究員 / 坂本 健太郎 准教授 / 佐藤 克文 教授	荒波と暴風の中で飛び立つアホウドリ —局所的な環境条件が海鳥へ与える影響とは？—
10.18	東京大学	新里 宙也 准教授	サンゴと褐虫藻の共生に関わる遺伝子候補を特定 —サンゴ礁生態系を支える共生分子機構の全容に迫る—

発表日	主導機関	所内発表者	タイトル
11.8	東京大学	松崎 賢史 助教	中期更新世におけるティモール海の古海洋学的変化と放散虫の生産パターンの変化
11.22	国際農研	今田 由紀子 准教授	西アフリカ半乾燥地域の重要作物ササゲに対する気候変動の影響を収量予測モデルにより推定 —干ばつとともに過湿への対策が必要になることを示唆—
11.24	東京大学	藤井 賢彦 教授 / ベルナルド・ローレンス・パトリック・カセス 特任研究員	マガキ養殖海域の温暖化・酸性化の詳細な観測・予測に成功 —深刻な影響を回避するためには様々な対策が必要—
12.1	海洋研究開発機構	今田 由紀子 准教授	猛暑発生時の地上高温に対する地球温暖化の寄与を初めて評価 —2022年初夏の猛暑に対する温暖化影響には地域差があった—
12.1	神戸大学	佐藤 克文 教授	ザトウクジラが漁船周りで拾い食い!? —省エネな餌取り方法に潜むクジラと漁船双方へのリスクに警鐘—
12.6	国立環境研究所	佐藤 正樹 教授	大気の水循環を追跡する高解像度シミュレーション —次世代の水同位体・大気大循環モデルの開発—